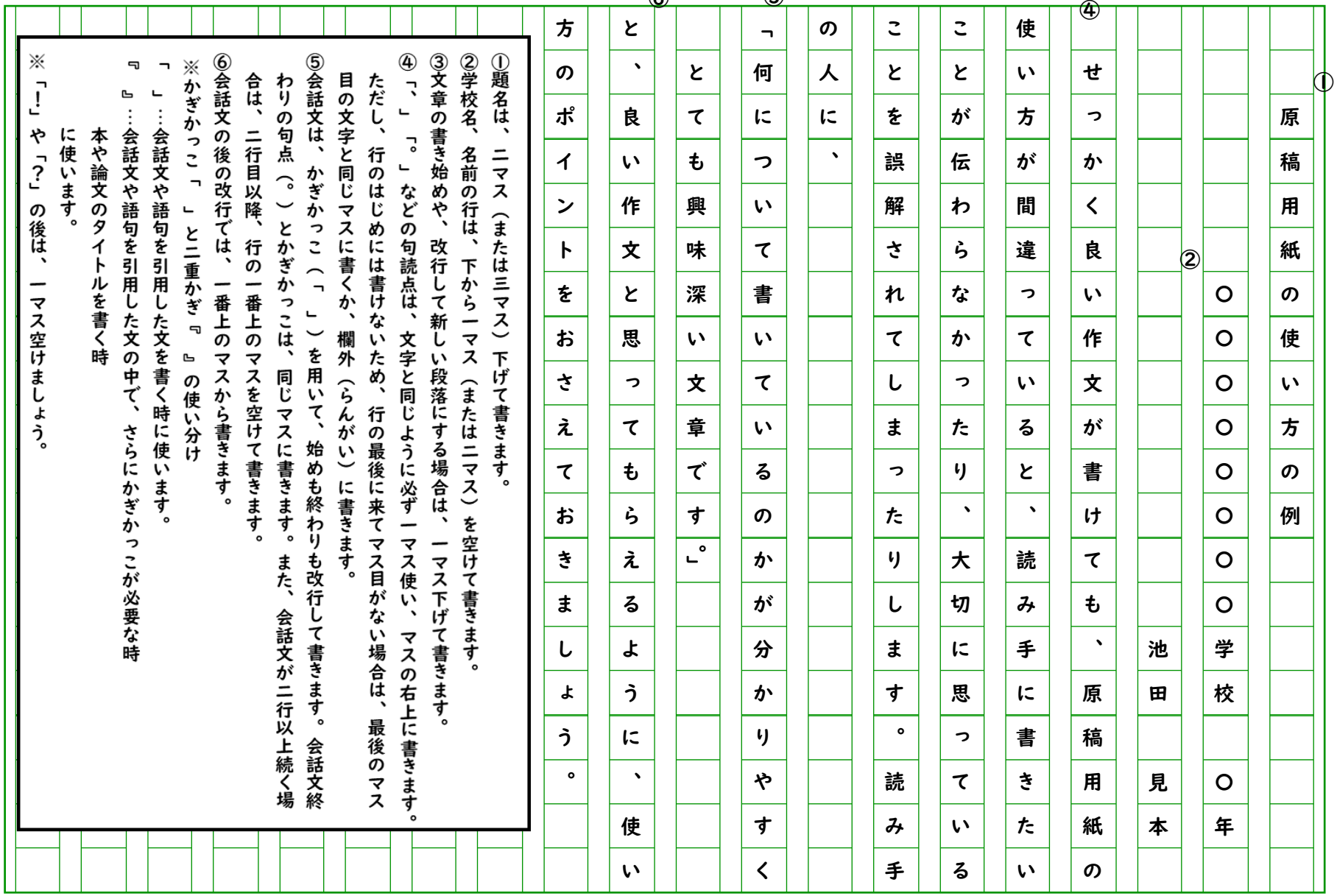
池田市「少年の主張」原稿用紙の使い方の例



①題名は、二マス（または三マス）下げて書きます。
②学校名、名前の行は、下から一マス（またはニマス）を空けて書きます。
③文章の書き始めや、改行して新しい段落にする場合は、一マス下げて書きます。
④「、」「。」などの句読点は、文字と同じように必ず一マス使い、マスの右上に書きます。ただし、行のはじめには書けないため、行の最後に来てマス目がない場合は、最後のマス目の文字と同じマスに書くか、欄外（らんがい）に書きます。
⑤会話文は、かぎかっこ（「　」）を用いて、始めも終わりも改行して書きます。会話文終わりの句点（。）とかぎかっこは、同じマスに書きます。また、会話文が二行以上続く場合は、二行目以降、行の一番上のマスを空けて書きます。
⑥会話文の後の改行では、一番上のマスから書きます。

※かぎかっこ「　」と二重かぎ『　』の使い分け
「　」…会話文や語句を引用した文を書く時に使います。
『　』…会話文や語句を引用した文の中で、さらにかぎかっこが必要な時
本や論文のタイトルを書く時
に使います。

※「!」や「?」の後は、一マス空けましょう。

20 × 20